



スーパーバギー スマイビー FB

取扱説明書

この説明書は永くご使用いただくために、読んだ後は大切に保管してください。

この度は「スーパーバギー・スマイビーFB」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

「スーパーバギー・スマイビーFB」はA型フルリクライニングベビーカーです。赤ちゃんと一緒に出かけられる場合のベビーカーとして安全性・軽便性に抜群の性能を備えており、皆様方に必ずお喜びいただけるものと確信しています。

当社は赤ちゃんの健やかな成長を願って、きめ細かな心くばりによる設計、製品作りに取り組んでいます。赤ちゃんのお健やかな成長をお祈りするとともに、当製品を永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

1. 安全にご使用していただくためのご注意

重大な障害・事故につながる恐れがありますので、必ず下記の注意事項をお守りください。

ご使用いただけるお子様 —— 生後1カ月～36カ月以内のお子様。
ただし体重は15kg未満。
望ましい連続使用時間 —— 2時間以内（ただし背もたれを立てた
状態での使用に関しては1時間以内）



警告 守らなければ重大事故につながる恐れがあります。

1. お子様の健康への影響を考慮して、連続使用は2時間以内にとどめてください。
ただし背もたれを立てた状態での使用に関しては1時間以内にとどめてください。
2. ご使用前に必ず各部に緩み、破損等がないことを確認してください。もし緩み・破損等がある場合はそのまま使用せず、当社にご相談ください。
3. 組み立てた時、必ず後輪側のストッパーが掛かっていることを確認してください。
4. シートベルト・肩ベルトはP6「シートベルトの使用方法」を参考に、正しい方法で必ず着用してください。
5. 肩ベルトはお子様の体格に合った状態に調節してください。肩ベルトが長すぎる状態にしておくと、首に巻きついたりする危険性がありますのでご注意ください。
6. お子様をベビーカーのシートや足のせの上に絶対に立たせないでください。転倒し、ケガの原因になります。
7. ベビーカーのハンドルに荷物等を掛けしないでください。荷物をハンドルに掛けますと、車体が後方に倒れやすくなり、ケガの原因となります。また、車体に過度な負担がかかり、故障の原因となります。
8. ベビーカーにお子様を乗せたまま、持ち上げての移動はしないでください。急に折りたたまれて、手指を挟んだり、ケガの原因になります。
9. お子様を乗せているときには、特にストッパーを過信しないでください。構造上・機能上・耐久性において、自動車のブレーキのような完全なものではありません。
10. ベビーカーを開閉する時、お子様が車体に触れていると、折りたたみ部分に手指を挟んだりすることがあります。お子様が車体に触れている時に、開閉操作をすることは絶対にしないでください。
11. ベビーカーは電車などの公共機関での利用において、十分安全性を確保できるものではありません。
電車などの公共機関でのご利用時は、各公共機関の案内など規定を守り、お客様の責任において安全に注意してご利用ください。
12. 雷が発生している時は使用しないでください。落雷に遭う恐れがあります。
13. お子様を乗せたままエスカレーターでの使用はおやめください。思わぬ事故の原因になります。エスカレーターに乗るときは必ずベビーカーは折りたたんでください。
14. 安全のためセーフティーガードは取り外さずにご使用ください。
15. お子様の体重が15kg以上になった場合は、ベビーカーの使用は中止してください。



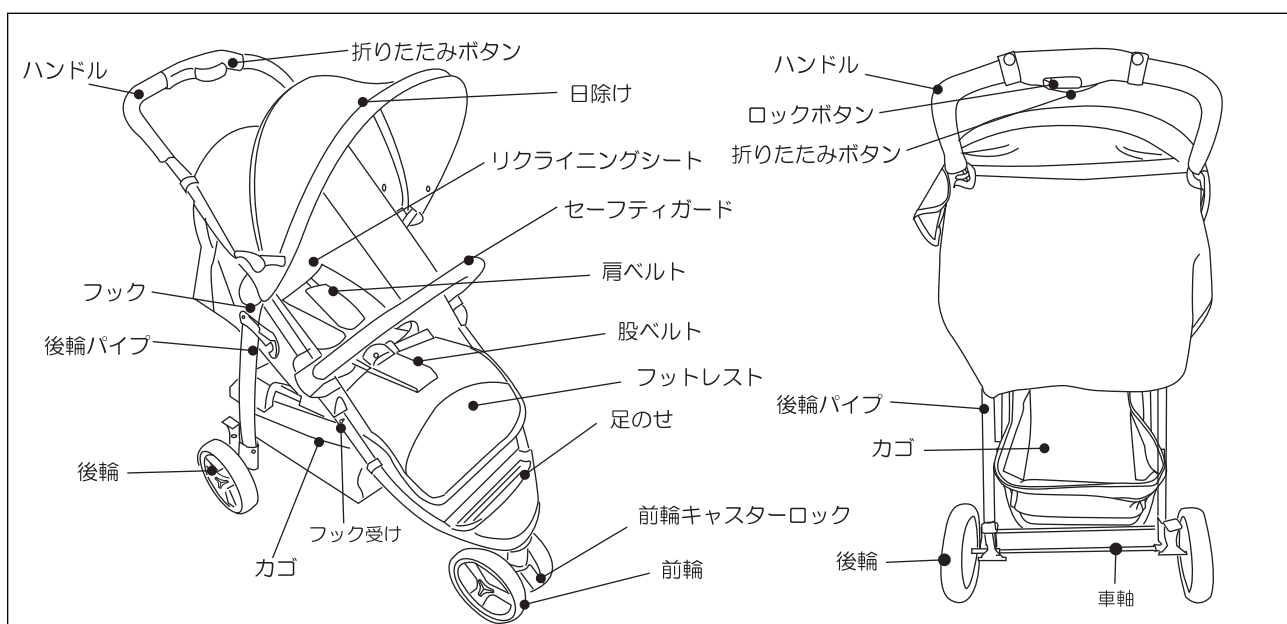
注意 守らなければケガ・故障の原因となります。

1. お子様を乗せる前に、必ずストッパーをかけて、車輪を固定してください。
2. シートベルトを締めていても、お子様が立ち上がったりする場合がありますので、お子様の動作には十分ご注意ください。
3. ベビーカーには2人以上一緒に乗せたり、シート以外の所に乗せたりしないでください。
4. 市販されている2人乗り用の器具を使用するのはお避けください。車体に過度の負担がかかり、故障の原因になります。
5. ベビーカーを人混みの中で使用する時は、他の人に当たったりしないよう十分ご注意ください。
6. 路上に放置するときには、絶対にお子様を置き去りにしないでください。
7. お子様を乗せていない時でも、ベビーカーを坂道や車道に近い歩道上などの危険な場所に放置しないでください。
8. 線路を渡る時は、線路のわだちに車輪がはまり込まないようにご注意ください。
9. ベビーカーを直射日光の下に放置したり、炎天下の中で車のトランクに放置したりすると、ベビーカーの車体が高温になり、火傷をしたりすることがあります。ご注意ください。
10. ベビーカーのガードの上に荷物などを置いたり、お子様を乗せたりしないでください。ガードの破損の原因となります。
11. お子様を乗せていなくてもベビーカーのガードを持っでの持ち運びはしないでください。ガードの破損の原因となります。

安全のための日常の点検・管理について

1. 長時間使用を繰り返すことにより、各部が消耗劣化する恐れがありますので、ご使用前には必ずシートベルトや各フレーム、車輪などに異常がないかを確認して下さい。
2. 使用中に車輪など各部から異常音が発生したり、車輪の回転が重くなったりした場合は、直ちに使用を中断し、各部に異常がないかを点検してください。
3. 過度の荷重や衝撃が加わった場合、また破損・異常を発見した場合は、直ちに使用をおやめください。
4. ぬかるみや砂場など悪路での使用はおやめください。車輪が回らなくなったり、各部の異常音の原因になります。
5. ベビーカーを雨等で濡れたままにしておくと、錆が発生し強度が弱くなる原因になります。濡れたりはした場合は、必ず水分を拭き取るようにしてください。日頃のお手入れが、安全性保持の要因です。

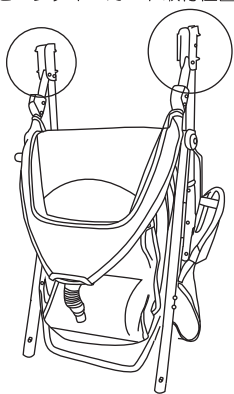
2. 各部の名称



3. セーフティーガード並びに車輪の取付

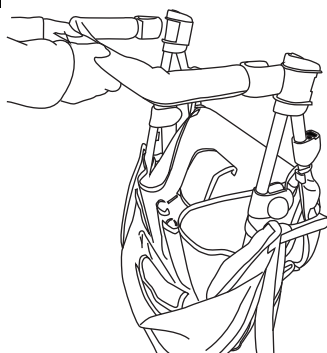
1

セーフティーガード取付位置



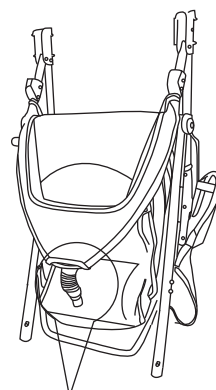
本体のセーフティーガード取り付け位置にガードを取り付けます。

2



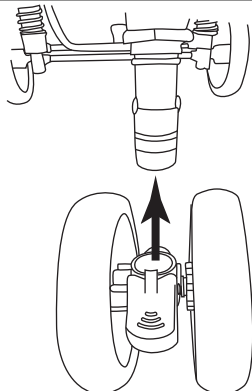
カチッと音がするまで確実に取り付けて、外れないことを確認してください。

3



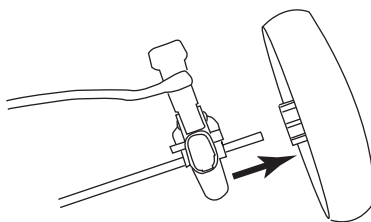
前輪取付位置

4



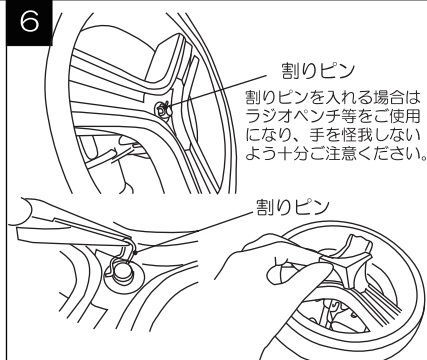
前輪取付位置に前輪を差し込みます。カチッと音が鳴るまで確実に差し込んでください。

5 後輪の取付け方



後輪ベースの車軸の左右に車輪を差し込みます。

6



割りピン

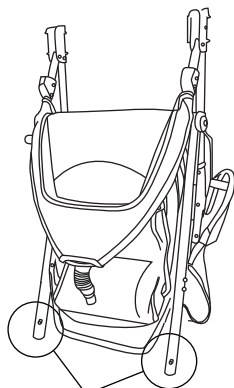
割りピンを入れる場合はラジオペンチ等をご使用になり、手を怪我しないよう十分ご注意ください。

割りピン

車軸に車輪を差し込み、次にワッシャを入れ、割りピンで固定し、ホイールキャップをはめ込みます。

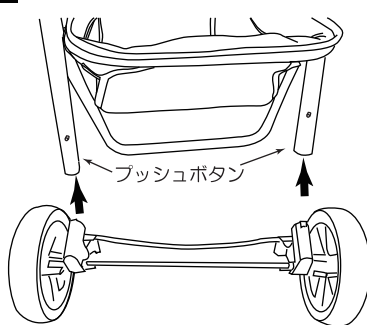
注意 指をケガしないよう十分ご注意ください。

7 後輪の取付位置



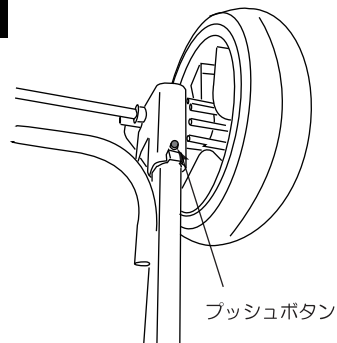
後輪取付位置

8



後輪パイプに組み立てた後輪をカチッと音が鳴るまで確実に差し込んでください。

9

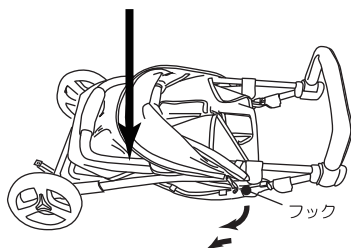


プッシュボタンが確実に固定されているかを確認してください。

4. 開き方・閉じ方

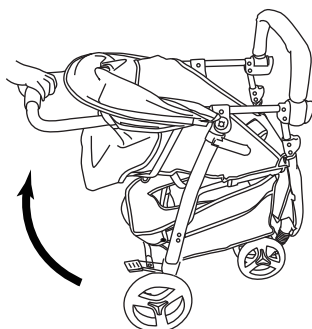
1 開き方

上から押し付けながら



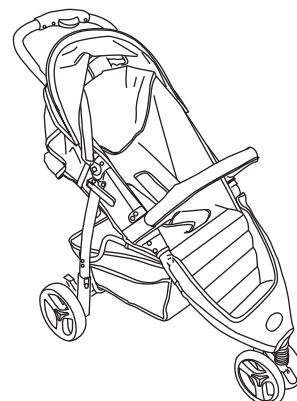
ベビーカーを寝かせた状態で上から押し付けながら、フックを外してください。

2



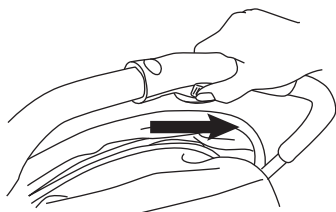
ハンドルを持って上に引き上げてください。前輪と後輪が広がってきます。

3



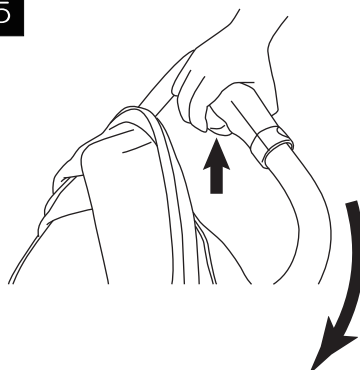
ハンドルが完全に開くようにしてください。

4 閉じ方



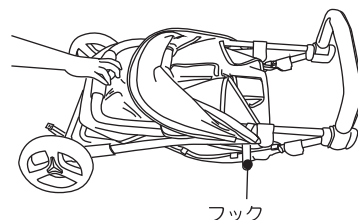
閉じるときは日除けをたたみ、シートを完全にリクライニングさせた状態で、ハンドル中央部裏側にあるロックボタンを右方向にスライドします。シートを起こした状態では折りたたみません。

5



ロックボタンを右にスライドさせながら折りたたみボタンを押して、ハンドルを下方方向に折りたたんでください。

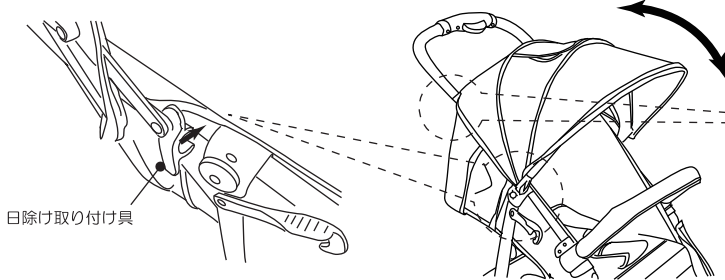
6



完全に折りたたんでサイドのフックをかけてください。

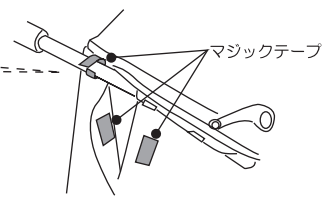
5. 日除けの取付・開き方

日除けは左右のハンドルパイプに日除けの両端の取り付け具で挟み込んで取り付けてください。
外す時は両端の取り付け具をハンドルパイプから外してください。

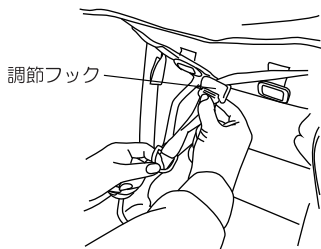


日除けのフレームを持って開いてください。閉じるときはその逆を行ってください。

左右のハンドルパイプに日除けに付いているマジックテープで止めてください。
図の位置とシートの背面上部にもマジックテープがあります。(合計6カ所)



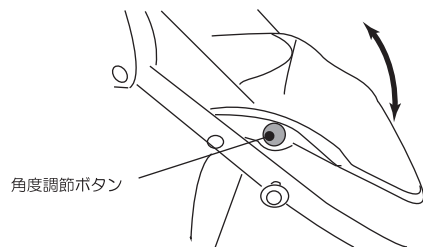
6. リクライニングの方法



シートの裏側にあるリクライニングベルトの調節フックをつまみながら好みの角度に調節してください。
シートをたてる時は、調節フックから出ているベルトを引張ってください。
本体を折りたたむ時はシートを完全に倒してください。

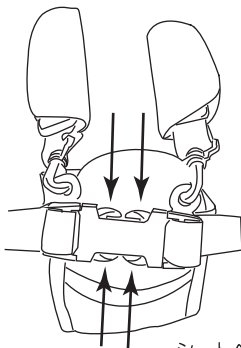
7. フットレストの角度調節の方法

フットレストは3段階の調節ができます。
左右2カ所の角度調節ボタンを同時に押しながら下方向に下げてください。
上に上げる時は角度調節ボタンは押さずに、フットレストを持ち上げてください。



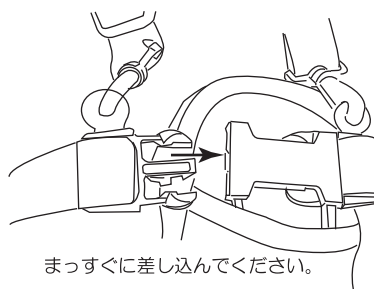
8. シートベルトの使用方法

⚠ バックルをはめ込むときに、指等を挟まないようご注意ください。



押し込む

シートベルトはバックルの4カ所のツメを矢印の方向に押し込むとはずれます。
バックルをはめる時は片方ずつまっすぐに差し込み、カチッと音が鳴るまで確実にセットしてください。
このシートベルトは5点式です。



まっすぐに差し込んでください。

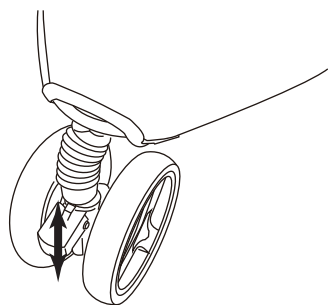
シートベルトはお子様は抜け出さないような長さに調節してご使用下さい。

バックルは必ず真横から差し込んで下さい。
斜めから差し込むと破損の原因となります。



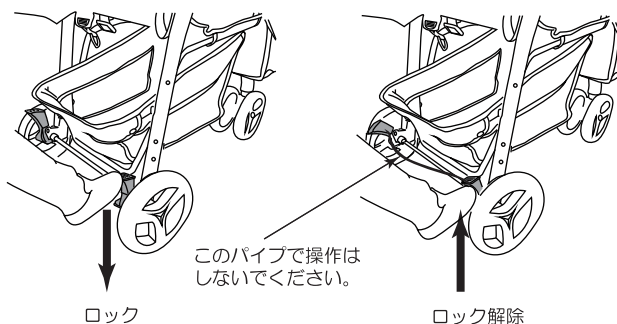
肩ベルトが長すぎるとお子様の首に巻きついたりして大きな事故の原因となります。
肩ベルトは必ず適切な長さに調節してからご使用下さい。

9. 前輪キャスターのロック方法



前輪キャスターロックを下に下げるとロックが掛かります。解除するときはキャスターロックを上に戻してください。

10. ストッパーの使用法



左右どちらかの後輪ストッパーを足で下げると、後輪がロックされて停車することができます。
解除する時は、ストッパーを足で上げてください。
左右のストッパーは連動されています。
上の図の黒いパイプで操作はしないでください。パイプが変形する恐れがあります。

! お子様を乗せている時には、ストッパーを過信しないで下さい。
自動車のブレーキのような完全なものではありません。

11. 日常点検について

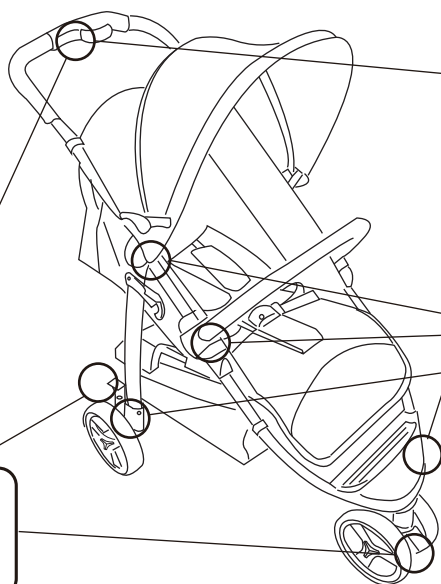
寿命を過ぎたベビーカーを使用し続けると、思わぬ事故が発生する場合があります。

ベビーカーは各国の安全基準に適合・準拠した商品であっても、長期間の使用や環境により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで破損に至ることがあります。特に2人目のお子様、他人からの譲り受け等によるご使用は、寿命を超えている場合があります。

寿命はメーカーや機種に加えて、使用状況や保管状態により異なりますが、新規購入時から使用対象月齢期間までが目安です。

安全で安心な育児のために、寿命内であっても、日頃からのご注意と点検をお願い致します。

下記の点を中心に全体をチェックしてください。



本体や部品に変形・割れ・ヒビが生じていないか

締結部品にゆがみが生じていないか

開閉ロックの動きが悪くなっていないか